



低位前方切除術後症候群（LARS）を知っていますか？

本術式とLARSの原因および治療について

東京慈恵会医科大学附属第三病院外科

榎本浩也



一般社団法人

日本看護研究学会

**日本看護研究学会第48回学術集会
COI開示**

榎本浩也

**発表に関連し、筆頭演者には過去3年間において、
開示すべきCOI関係にある企業などはありません。**



本日の話

- ✓ 肛門温存手術について
- ✓ LARSの症状
- ✓ LARSの機序
- ✓ LARSの治療
- ✓ 現状と今度の課題

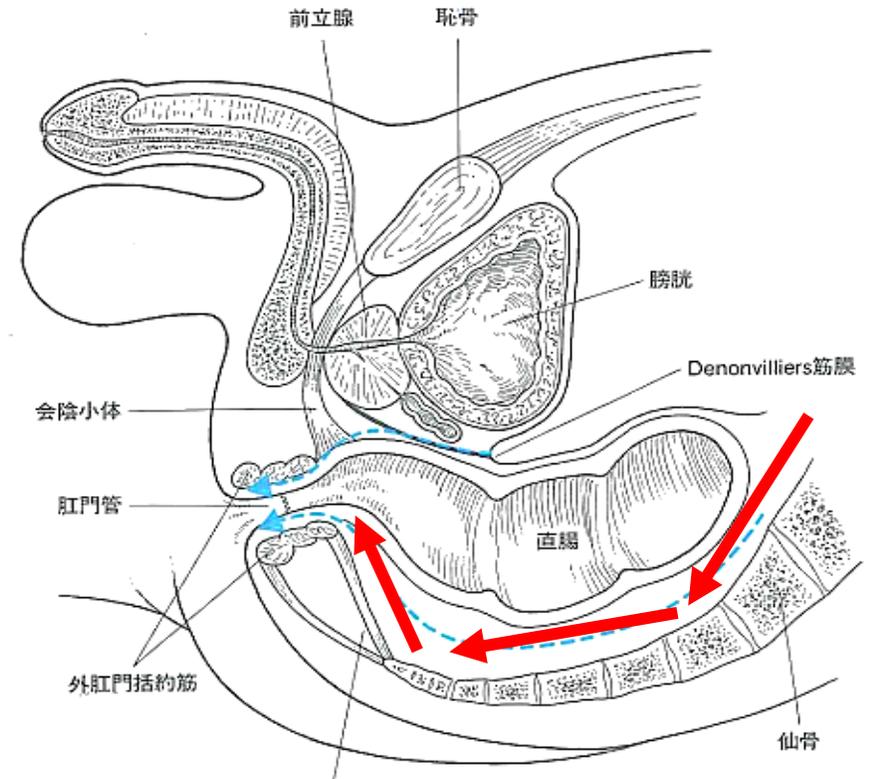
肛門温存手術

- ✓ 骨盤腔は狭い（特に男性）
- ✓ 排尿、性機能の神経が近い
- ✓ 精嚢と前立腺、子宮と膣が近接
- ✓ 解剖学的な角度がきつい



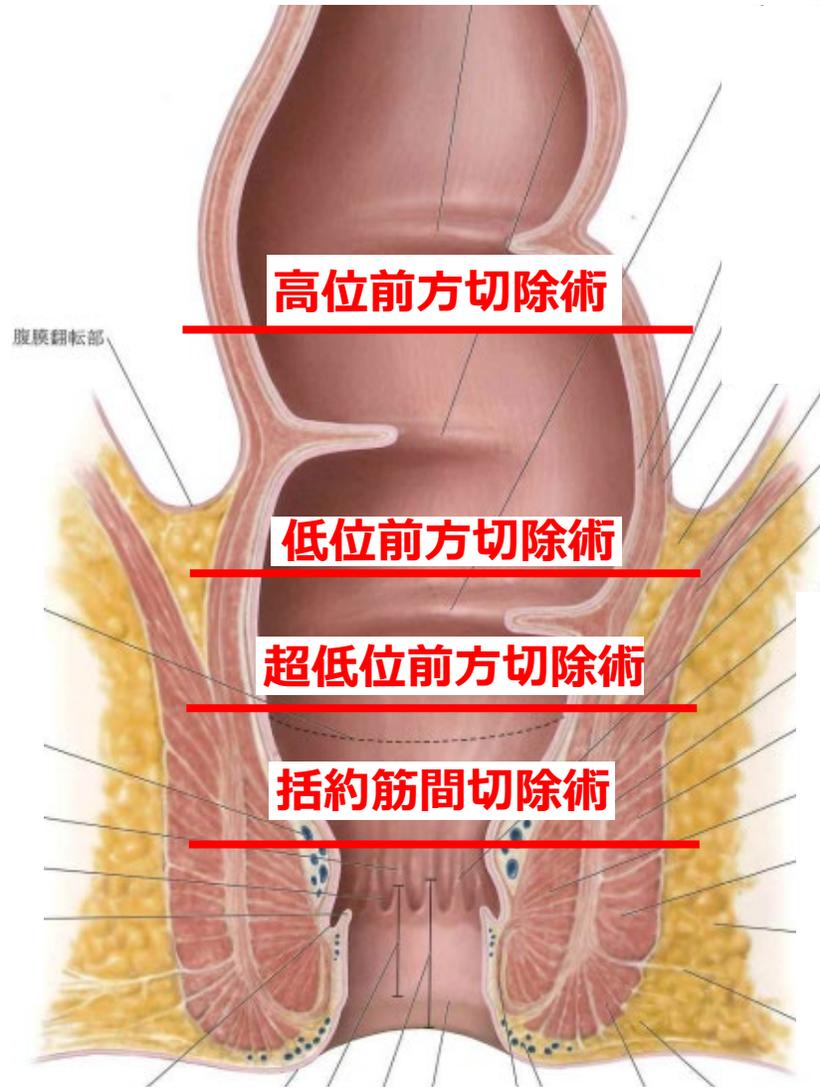
縫合不全率、局所再発率が高い

**膀胱、精嚢、前立腺、
子宮、膣、神経が近い**



この角度が手術でつらい

技術の進歩により肛門温存手術が増加

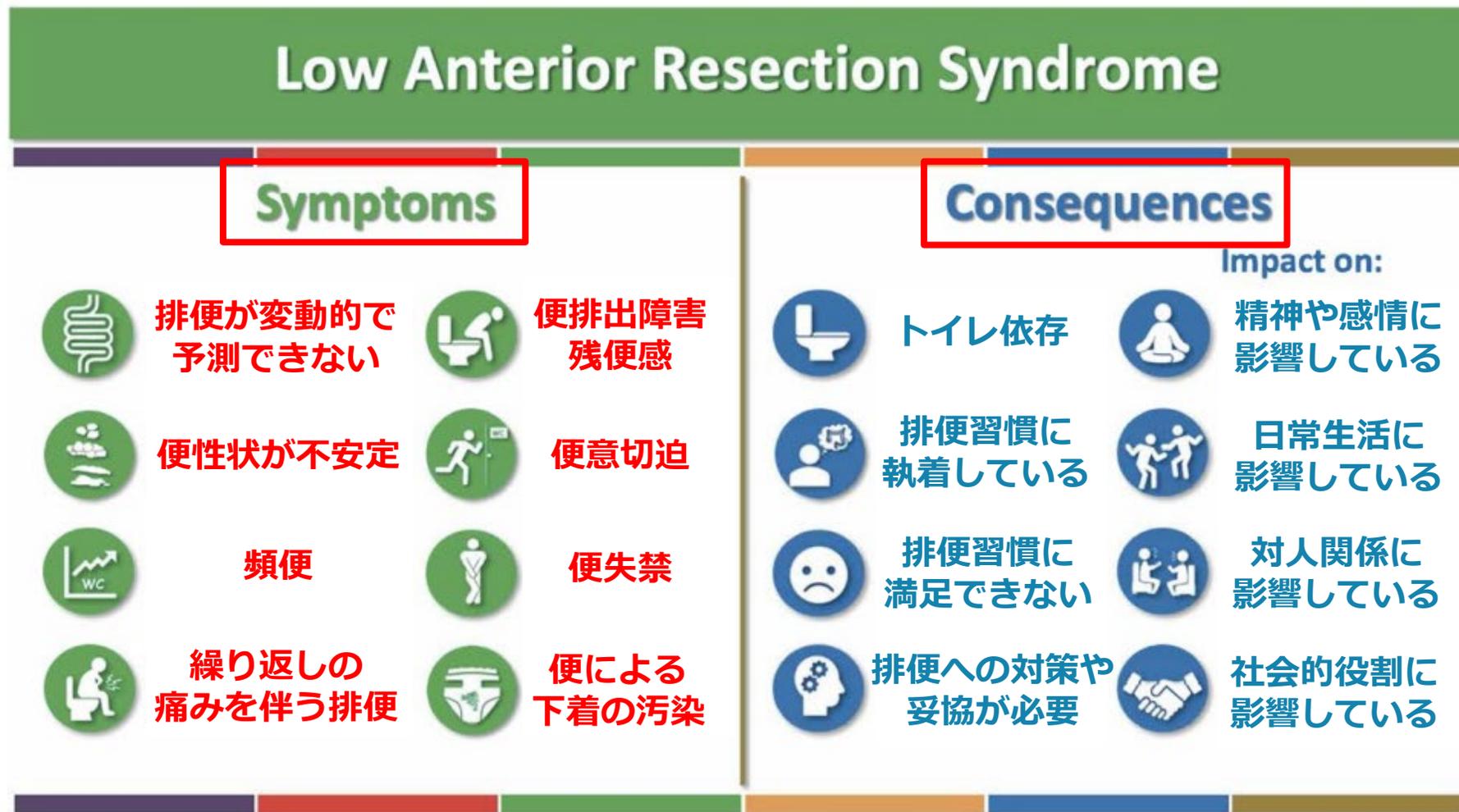


腹会陰式直腸切断術
(永久人工肛門)



超低位前方切除術
括約筋間切除術
(肛門温存手術)

LARSの症状

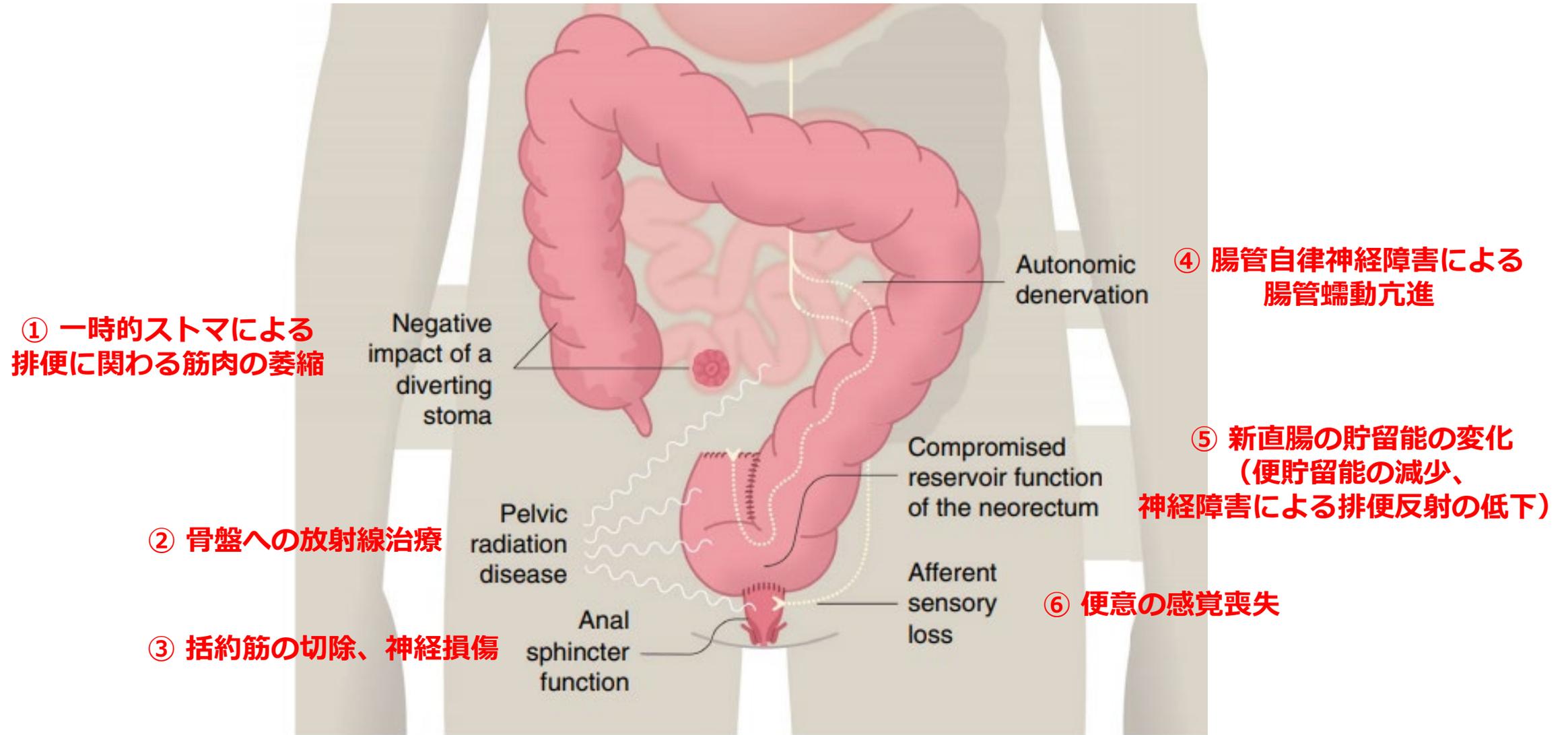


At least one of these symptoms resulting in at least one of these consequences

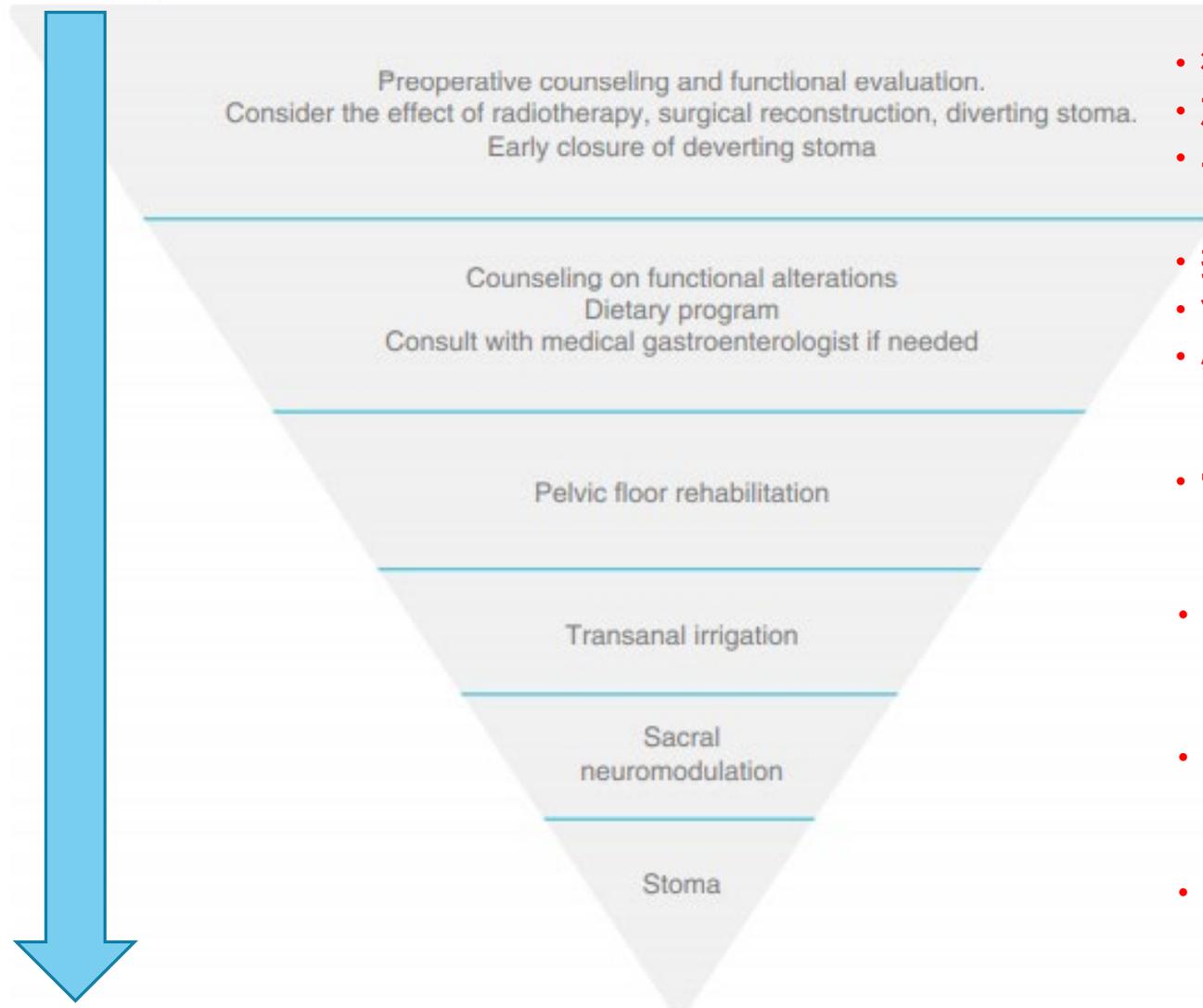
LARSによる症状

- ✓ **食事**：好きなものを食べれない、食べるのが嫌になって痩せた。
- ✓ **仕事**：食品を作る関係の仕事をしていたが、仕事を辞めた。
- ✓ **行動制限**：排便障害により家からほとんど出なくなった。
旅行に行かなくなった。
- ✓ **スポーツ**：好きだったゴルフ、マラソンをしなくなった。
- ✓ **精神面**：自分がうんこ臭いのではないかと不安を感じる。
うつになって人生がつまらない。

LARSの機序



LARSの治療



- ・術前のカウンセリングと機能評価
- ・放射線治療、外科手術、一時的人工肛門の影響の考慮
- ・早期の一時的ストマ閉鎖

- ・排便機能変化に対するカウンセリング
- ・食事指導
- ・必要であれば専門医を受診（薬物療法）

- ・骨盤底筋リハビリテーション



- ・経肛門的洗腸療法

- ・仙骨神経刺激療法



- ・人工肛門造設



現状と今後の課題

- ✓ 肛門温存手術の増加によりLARSに苦しむ患者は増えているが、その治療法は十分に整備されていない。
- ✓ 医療者側の認識・知識が不足している。
- ✓ 看護師や栄養士などを含めたチーム介入が重要となってくる。